

「岡山市食育推進計画（第4次）」素案について

1 経過

- 平成17年6月 国が食育基本法を公布
「食育は、生きる上での基本であって、教育の三本の柱である知育、徳育、体育の基礎となるべきもの」と位置付ける
- 平成18年3月 国が食育推進基本計画を策定
- 平成21年3月 岡山市食育推進計画を策定
- 平成23年3月 国が第2次食育推進基本計画を策定
- 平成25年3月 岡山市食育推進計画（第2次）を策定
- 平成28年3月 国が第3次食育推進基本計画を策定
- 平成30年3月 岡山市食育推進計画（第3次）を策定
- 令和3年3月 国が第4次食育推進基本計画を策定
- 令和3年11月 岡山市食育推進計画（第3次）の計画期間を1年延長

2 計画策定の趣旨

岡山市食育推進計画(第4次)は、これまでの食育推進状況を検証するとともに、国の第4次食育推進基本計画において、基本的な方針として①生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進（国民の健康の視点）②持続可能な食を支える食育の推進（社会・環境・文化の視点）③「新たな日常」やデジタル化に対応した食育の推進（横断的な視点）を重点事項としたことを踏まえ策定する。

3 計画の概要

（1）計画期間

令和6年度から令和10年度までの5年間

- （2）第4次食育推進計画の概要・・・別紙1
- （3）第3次計画と4次計画の体系比較・・・別紙2
- （4）食育推進の主な取り組み・・・別紙3
- （5）第4次食育推進計画評価指標・・・別紙4

（裏面あり）

4 今後のスケジュール

令和5年11月6日 岡山市保健福祉政策審議会：計画（案）審議

令和5年11月22日 岡山市議会保健福祉・協働委員会：計画（案）審議

令和5年12月上旬～令和6年1月上旬 パブリックコメント

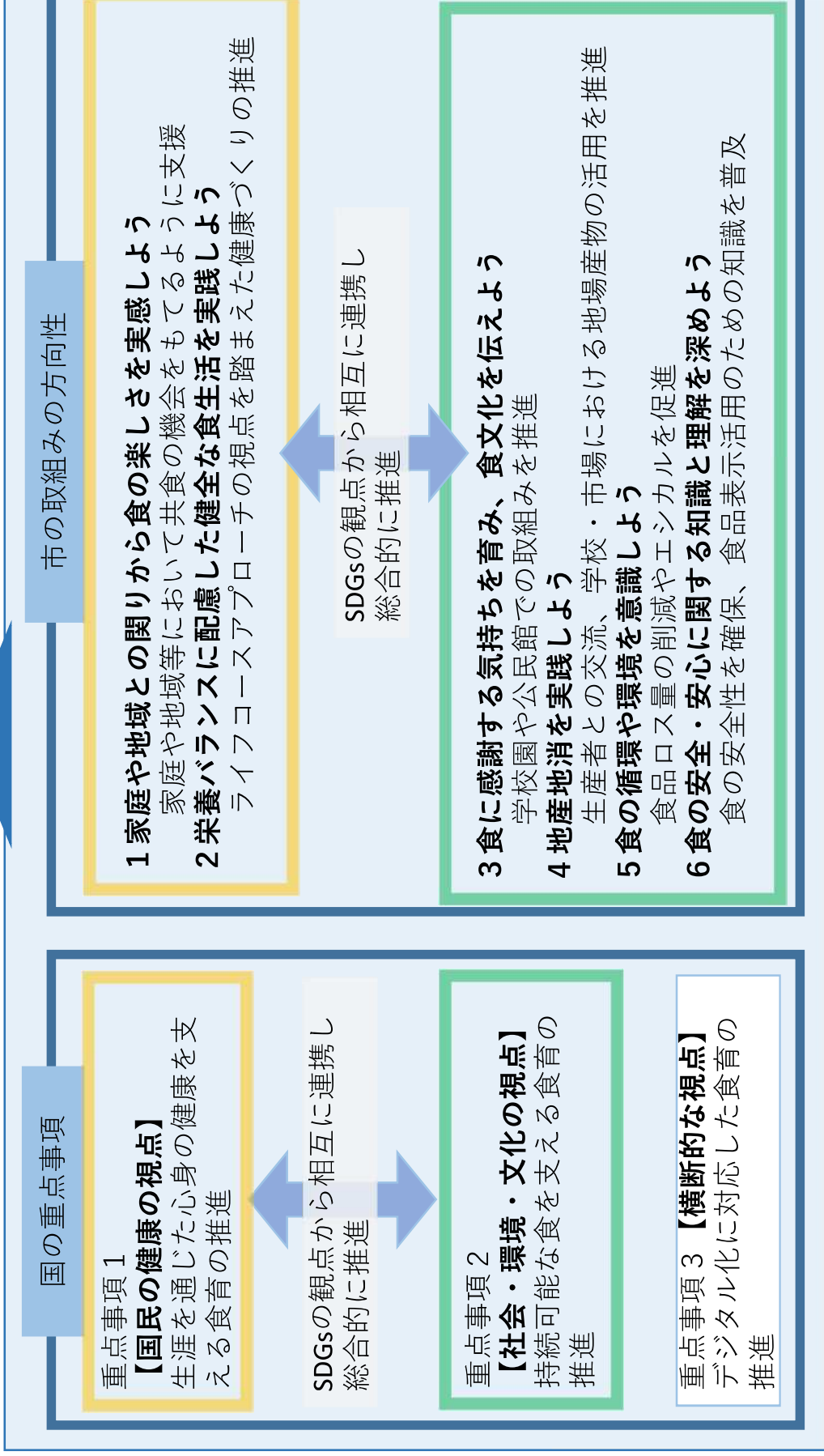
令和6年2月 岡山市保健福祉政策審議会：計画（案）審議

令和6年2月 岡山市議会保健福祉・協働委員会：計画（案）審議

令和6年3月 計画策定

市の目標

すべての市民が健康で、心豊かに生活できる持続可能なまち



岡山市食育推進計画 第3次と第4次の体系比較

○岡山市食育推進計画（第3次）	○岡山市食育推進計画（第4次）
第1章 第3次計画の基本的な考え方	第1章 第4次計画の基本的な考え方
1 計画策定の趣旨	1 計画策定の趣旨
2 計画の位置づけと計画期間	2 計画の位置づけと計画期間
第2章 岡山市における食をめぐる現状と課題	第2章 第3次計画期間における取組状況と課題
1 家庭における現状と課題	1 これまでの主な取組状況
2 保育所(園)・学校等における現状と課題	(1) 家庭や地域との関わりから食の楽しさを実感しよう
3 地域における現状と課題	(2) 栄養バランス等に配慮した健全な食生活を実践しよう
4 地産地消・農業における現状と課題	(3) 地産地消を実践しよう
5 食品関連事業者等における現状と課題	(4) 食の安全・安心に関する知識と理解を深めよう
6 食文化の継承に関する現状と課題	2 岡山市食育推進計画（第3次）数値目標の達成状況
7 安全・安心な食の確保に関する現状と課題	3 評価結果等から見える課題
8 岡山市食育推進計画（第2次）の数値目標と達成状況	(1) 家庭や地域との関わりから食の楽しさを実感しよう
	(2) 栄養バランス等に配慮した健全な食生活を実践しよう
	(3) 地産地消を実践しよう
	(4) 食の安全・安心に関する知識と理解を深めよう
第3章 食育推進の基本的な取り組み	第3章 食育の推進に関する施策についての基本的な方針

1 計画の目標	1 基本的な方針
2 食育推進のイメージ	(1) 生涯を通じた心身の健康を支える食育の推進
3 食育推進の取り組み	(2) 持続可能な食を支える食育の推進
(1) 家庭で食育をすすめよう	(3) デジタル化に対応した食育の推進.
(2) 保育所(園)・学校等で食育をすすめよう	2 取組の方向性
(3) 地域で食育をすすめよう	(1) 家庭や地域との関わりから食の楽しさを実感しよう
(4) 地産地消や食の循環を意識しよう	(2) 栄養バランス等に配慮した健全な食生活を実践しよう
(5) 次世代へ食文化を伝えよう	(3) 食に感謝する気持ちを育み、食文化を伝えよう
(6) 食の安全・安心を守ろう	(4) 地産地消を実践しよう
4 ライフステージに応じた食育の推進	(5) 食の循環や環境を意識しよう
(1) 妊娠期	(6) 食の安全・安心に関する知識と理解を深めよう
(2) 乳幼児期	
(3) 学齢期	
(4) 青年期・壮年期	
(5) 高齢期	
第4章 推進体制と取り組み目標	第4章 食育の推進の目標に関する事項
1 推進体制	1 目標の考え方
2 取り組み目標	2 食育の推進に当たっての目標
	(1) 家族や友人、同僚と共に食事をする人を増やす
	(2) 朝食を毎日食べる児童を増やす
	(3) 朝食を毎日食べる生徒を増やす
	(4) 朝食を食べる若い世代を増やす

	(5) 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている人を増やす
	(6) 主食・主菜・副菜を組み合わせた食事を1日2回以上ほぼ毎日食べている若い世代を増やす
	(7) 野菜を多くとるようにしている人を増やす
	(8) 食塩の摂取を控えている人を増やす
	(9) 保育所等で取り組んだ栽培活動を通じて食に感謝する気持ちを育む働きかけをする園を増やす
	(10) 学校給食に県内地場産物を使用する割合を維持・増加させる
	(11) 学校給食に国産食材を使用する割合を維持・増加させる
	(12) 栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の実施回数を増やす
	(13) 野菜・果物等を購入するとき岡山産を意識する人を増やす
	(14) 食品ロス量を削減する
	(15) 食品表示を見る人を増やす
	第5章 計画の進行管理
	<資料>
<資料>	
1 食育基本法	1 食育基本法
2 食育推進の具体的な取組み	2 用語の解説
3 関係団体の食育推進活動の取組み	3 食育推進の具体的な取組み
4 わたしの中の食育推進ガイド	4 岡山市の農林水産業マップ
5 岡山市の農林水産業マップ	

第4次計画期間における食育の推進に関連する主な取組（予定）

（1）家庭や地域との関わりから食の楽しさを実感しよう

- 地域ボランティアとも連携した各種料理教室、講習会の実施
- 子どもの居場所づくり等促進事業
- 岡山市ふれあい給食サービス促進事業

（2）栄養バランス等に配慮した健全な食生活を実践しよう

- 妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針の活用
- 各種育児相談や講習会の実施
- 「早寝、早起き、朝ごはん」運動の推進
- 学校における基本的な食に関する指導のカリキュラムによる指導
- スクールランチセミナーの開催
- 介護予防普及啓発事業、フレイル対策事業、低栄養予防保健指導

（3）食に感謝する気持ちを育み、食文化を伝えよう

- 保育所等における計画的な食育の推進
- 学校給食へ食文化や郷土料理の伝承につながる献立
- 公民館講座での取組

（4）地産地消を実践しよう

- 地産地消マルシェ、バスツアー等の開催
- 子ども食農体験事業等農林漁業体験
- 学校給食における地場農産物の利用促進
- 学校における地場農産物についての指導
- おかやま市場フェス等のイベントを利用した旬の食材の試食や情報提供

（5）食の循環や環境を意識しよう

- 食品ロス削減に向けた取組
- エシカル消費の普及啓発
- 公民館講座での食品ロス等普及啓発やフードドライブなどの取組

（6）食の安全・安心に関する知識と理解を深めよう

- 「岡山市食品衛生監視指導計画」の策定
- 食品関連事業者に対する監視指導
- 中央卸売市場やと畜場での衛生管理の実施
- わくわく子どもまつり等のイベント等通じた情報の発信、知識の普及
- 学校園における安全・安心な給食の提供

※フードドライブ：家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動。

第4次岡山市食育推進計画評価指標

国の重点事項	取組の方向性	市4次計画項目No	評価指標	基準値	目標値	現状値	評価	目標値
				(H29)	(R4)	(R4)		(R10)
【国民の健康の視点】	(1) 家庭や地域との関わりから食の楽しさを実感しよう	1	家族や友人、同僚と共に食事をする人を増やす	50.2%	増加させる	60.6%	○	増加させる
		2	朝食を毎日食べる児童を増やす(小学生)	84.7%	100.0%	85.5%	△	100%
		3	朝食を毎日食べる生徒を増やす(中学生)	77.3%	100.0%	77.8%	△	100%
		4	朝食を食べる若い世代※1を増やす	68.9%	73.0%	65.3%	▼	70%
		5	【変更】「主食」「主菜」「副菜」をそろえた食事が一日2回以上ある人を増やす	54.9%	60.0%	39.2% (参考値)※2	—	44%
		6	【変更】「主食」「主菜」「副菜」をそろえた食事が一日2回以上ある若い世代を増やす	45.8%	50.0%	33.4% (参考値)※2	—	40%
		7	野菜を多くとるようにしている人の割合を増やす	78.1%	100.0%	77.0%	▼	82%
	(2) 栄養バランス等に配慮した健全な食生活を実践しよう	8	【新規】食塩の摂取を控えている人の割合を増やす			46.9%		52%
		9	【新規】保育所等で取り組んだ栽培活動を通じて食に感謝する気持ちを育む働きかけをする園を増やす			74.2% (R5)		増加させる
	(3) 食に感謝する気持ちを育み、食文化を伝えよう							

第4次岡山市食育推進計画評価指標

別紙4

国の重点事項	取組の方向性	市4次計画項目No	評価指標	基準値 (H29)	目標値 (R4)	現状値 (R4)	評価	目標値	
								目標準値 (R10)	目標値 (R4)
【社会・環境・文化の視点】	(4) 地産地消を実践しよう	10	学校給食に県内地場産物を使用する割合を維持・増加させる(金額ベース)	49.4%	40%以上	59.9%	△※3	維持・増加させる	
		11 【新規】	学校給食に国産食材を使用する割合を維持・増加させる(金額ベース)			85.0%		維持・増加させる	
		12 【新規】	栄養教諭による地場産物に係る食に関する指導の実施回数を増やす			月2.6回		月9回以上	
		13	野菜・果物などを購入するとき岡山産を意識する人を増やす	60.5%	65 (H31)	62.8% (R3)	△	65.0%	
		14 【新規】	食品ロス量を削減する			28,497t/年 (R2)		27,512t/年 (R7)	
		15	食品表示を見る人を増やす	52.4%	57.0%	45.8%	▼	増加させる	

凡例 ○:目標達成していないが、改善 ▶:悪化 ー:評価不能

※1 若い世代とは20歳代、30歳代をさす。

※2 個人の主観による質問(「食事の栄養が偏らないように色々な種類の食品・料理をバランスよく摂っているか」)により調査をしていたが、最終評価時には、国の健康増進計画の質問に合わせ、客観的に判断できる質問(「主食・主菜・副菜をそろえた食事を一日2回以上あるのは、週に何日あるか」)により調査を行ったため。

※3 令和2年度以降国の調査方法が金額ベースに変更されたため。なお令和元年度食材数ベースでは57.3%となる。